

# 分割包装フィルム、使用直前に内容物を ワンプッシュ混合 旨み・性能・鮮度向上に寄与

丸東産業(株) / 三光機械(株)

パッケージコンバーターの丸東産業(株) (福岡県小郡市干潟892-1、TEL.0942-73-3626、<http://www.marutosangyo.co.jp/>) は、7月に東京ビッグサイトで開催されたDrink JAPAN展において、今年3月から発売開始した分割包装フィルム「まぜるっちゃん」を提案。袋内の内容物を使用直前に混合できるため、容器を準備する手間が減らせるほか、ごみ削減にも寄与する。充填包装機は三光機械(株) (神奈川県相模原市中央区下九沢1081、TEL.042-772-1521、<http://www.sanko-kikai.co.jp/>) 製で、「まぜるっちゃん」の仕様に合わせて従来機に改良を加えたもの。展示会でも注目を集め、採用数を増やしている。  
(☞ 戸田由馨)



実機デモで、製袋、充填の様子を披露

「まぜるっちゃん」は、2室に分かれている1つの包装体に2種類の内容物が充填されており、使用直前にある程度の強さで押すと袋内の仕切りシールが貫通し、内容物が混ざるといった仕組み。手軽に適量混合でき、従来2つ必要だった製品を1つにまとめられる。

他社品では、混合時、押し出す側が決まっていることが多いが、まぜるっちゃんは液体であればどちらからでも押し出せるのが特徴。水素発生粉末と美容液の組み合わせや、フェイスマスクと美容液の組み合わせ、液体調味料

と粉末の組み合わせ、保冷グッズ、2種類を混ぜると硬化が始まる接着剤などの用途を提案。「旨みや食感、性能、鮮度向上を求める商品などに利用できる」と担当者は話す。

1つの包装体で2液を混合する際、密封性が必要な外周部のシール強度は強く、仕切り部のシール強度は弱くする必要があるが、同社の特殊シーラントフィルムは低温と高温の2つのシール温度域を有しているため、シール部の温度設定のみで強度を明確に調整できる。加えて、弱シール部の温度範囲

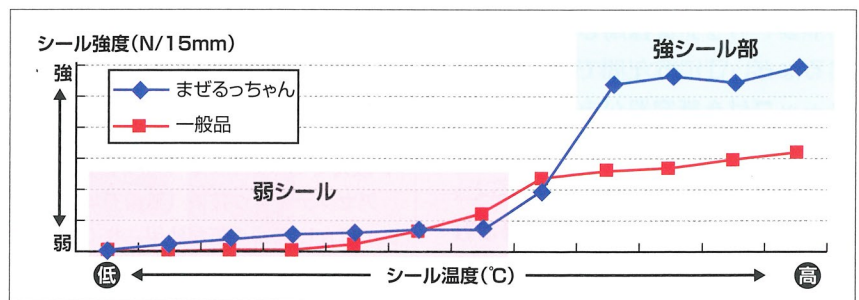
が広い温度調整しやすいのも強みだ。

構成は、バリアPET (バリアNy) / 特殊シーラントやPET (Ny) / Al箔 / 特殊シーラントなど、用途に応じた構成が可能。

製品の供給形態はロール品、製袋品のいずれにも対応している。



内容物が液体であれば  
どちらから押し出してもO.K.



まぜるっちゃんと一般品のシール温度域を比較 (丸東産業調べ)  
まぜるっちゃんは低温と高温の2つのシール温度域を持ち、弱シール部の温度範囲が広い温度調整しやすい